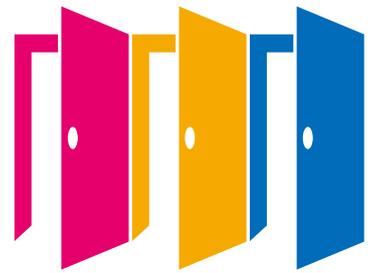


KOCHI ROTARY CLUB

2020
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3441回

2020年10月13日 2020年10月20日発行

● 会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は、篠原ガバナー、大平ガバナー補佐、蔭久委員長、ようこそ遠路私ども高知RCにお越しいただき、本当にありがとうございます。どうぞごゆっくりお過ごしください。

今回と次回の例会は三翠園さんの工事の都合上、会場を当新阪急ホテルに変更しました。席の並びも、普段は感染防止の観点からスクール方式ですが、今回は久しぶりに円卓で行います。間にシールドがあつて多少不便かも分かりませんが、周りの皆さんと親睦を深めていただければと思います。

さて、篠原ガバナーはガバナー月信の中で、「どんなコロナ禍にあらうとも夜の明けない朝はない」と述べられてい

ます。実際、厳しい環境下でさまざまな行事や会議の中止、延期を私たちの健康を考えて決断されました。先々週、大平ガバナー補佐ご臨席のもとでクラブ協議会を行いました。私どもクラブ活動においても、クラブ計画書で予定されている事業の中止など、思うような活動ができないことも判明しました。私はできないことはできないで仕方ないが、何とか工夫して、形を変えてでもできる限りの委員会活動をやってもらいたいとお願いしました。

本日は、篠原ガバナーから直接ご指導いただき、今後のクラブの活動に生かしてまいりたいと思います。また、篠原ガバナーにご配慮いただき、今回は全員の集合写真は撮影しないことにしましたのでご報告します。どうかよろしくお願いいたします。



■ 本日のプログラム [10月20日]

ゲストスピーチ

料亭濱長 女将 濱口実佐子氏
「土佐の伝統文化を守り紡ぐ」

会	長	中	村	裕	司
副	会	入	交	章	二
幹	事	関		雅	文
副	幹	中	澤	清	一
会	報	隅	田	和	稔
責	任				

● **ロータリーソング** 「君が代」「我らの生業」

● **来訪ロータリアン及びお客さま**

国際ロータリー第2670地区ガバナー 篠原 徹氏
 高知第II分区ガバナー補佐 大平哲雄氏 (四万十RC)
 随行員 蔭久正順氏 (高松東RC)

● **篠原 徹ガバナーとバナーの交換を行いました。**

● **幹事報告**

- ・10月のロータリーレートは1ドル105円です。
- ・例会終了後、定例理事会を行います。

● **ゲストスピーチ**

ガバナーアドレス

第2670地区ガバナー 篠原 徹氏 (高松東RC)



皆さん、改めましてこんにちは。私、本年度2020-2021年度地区ガバナーを仰せつかっています篠原徹と申します。所属は香川県高松の高松東RCです。この1年間、ご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

今日、この壇上から見回しますと関パストガバナーのお顔も拝見できます。日頃、関パストガバナーにはいろいろ教えていただきましてありがとうございます。お礼を申し上げます。

先ほど、別室で中村会長さん、関幹事さんとクラブの概略、歴史、現況、継続事業等々、お伺いしました。皆さん当然ご存知のように、このクラブさんは1937年創立で四国地区では今治RCに次いで2番目、83年の歴史と伝統があり、会員数も現在84名という四国を代表するクラブです。私は来訪するまで、長い歴史と伝統があるため、堅苦しい、厳粛な雰囲気のクラブかと思っていましたが、あにはからんや、中村会長さんとお話した瞬間から、本当にフレンドリーな人間的な人情味あふれるクラブだと分かりました。私の認識は少し偏っていたかもしれないと、再認識したところです。そして、これぞ本当に伝統的なクラブの形式、運営を踏襲しているクラブだと感じた次第です。

今ロータリークラブも世界的に柔軟性とか多様性、自主性といった方向にどんどん変わろうとしています。その中であって、伝統的のがっちりした運営、これは一つの形として守っていかれたらどうでしょうか。

奉仕活動においても、生活に困っている大学生の中で優



秀な学生に燦燦奨学生として援助をしている。地区補助金を利用して、奥田川親水公園の希少動植物の生息保護事業を地域の方と一緒にしている。今年はコロナの関係で中断していますが、来年からは継続したいというお話でした。

私を感じたのは、女性会員が多いですね。84名中15名、女性会員が2割近いというクラブは、四国地区ではありません。世界では25%ですが、日本では5、6%です。日本は遅れていると言われるかもしれませんが、やはり日本のクラブは男性主体で、女性が入りにくいといった独特の雰囲気があります。海外の25%というのはいくつものクラブですが、農村の集会所で女性会員だけとか、ちょっと集まる会とか、そういう形ですから率は増えるわけです。日本のように、一流ホテルで例会を開くといった形では、なかなか一般の人には敷居が高いわけです。そういう中であって、女性会員15名という、いろんな意味で入会したい気持ちになるようなクラブなんだと、素晴らしいクラブだと思います。女性がいると、当然ですが雰囲気が和やかになり、メリットが多いと私は思っています。四国には未だに女性は入れないというクラブもあります。これも一つの考え方でしょうけど、私はどんどん女性にも入っていただき、女性の視点からクラブを活性化した方がいいと、個人的には思っています。

今まで順風満帆で素晴らしい運営をされていますので、会員増強等にはあまり力を入れてないのではと思っていましたが、中村会長は増強に意欲満々で、90名前後を目指しているとおっしゃっています。遠い昔は100名の時代もあって、今少し減っています。だから、僕としては、これで満足はしていません。ですから、皆さん、もう一段、もう一段とアップして、会員増強も頭に置いていただければと思います。

以上が、このクラブさんに対する私の率直な印象です。

RIというのは、一般の会員さんは名前は知っているけど、直接的な影響はないし、左程興味もないというのが本



当ではないかと思えます。私は、今年1年間ガバナーを仰せつかっていますので、私のような立場の人間がRIについて、話をすべきじゃないかと思えます。と申しますのは、RIには世界中から選ばれた18名、会長を入れると19名の理事がいます。1人、2年任期で入れ替わって理事会を構成します。しかし、19人だけで世界中を回るわけにはいきませんから、各地区のガバナーはメッセンジャーとして、その年度のRIの方針を伝える役目があります。つまり、地区ガバナーであると同時にRIの1年間限定の役員、理事会の代行役員という立場です。

したがって、世界のロータリーが今のような状況にあるのか、どのような流れの中にあるのかを少しだけお話します。ただ、私ごときが全て正しいことをお話できるわけではありません。独断と偏見が入りますが、私が今思っていることをお話させていただきます。

クナークさん(RI会長)はドイツの方ですが、私が注目したのは奥さんのスザンヌさんです。奥さんもロータリアンですが、最初から衛星クラブに入会しています。今衛星クラブという制度ができていて、この地区にも一つあり、正式なロータリアンとして認められています。RIの今年のトップである会長さんの奥さんが、衛星クラブのロータリアンだということです。今までロータリーの歴史の中でなかったようなクラブが正式なクラブとして認められ、そのクラブの会員がRI会長夫人であることが、今の時代では何の違和感もない。相当時代が変わってきたということが、このことから分かると思えます。

クナークさんの今年のテーマは原語で「Rotary Opens Opportunities」です。Opportunitiesで単数形ではない、つまりたくさんのお話ということ。私は英語が余り得意ではありませんが、Opportunityが機会だというぐらいは訳すことはできました。

しかし、いまちOpportunityという言葉はぴんときまませんでした。本当のニュアンスは何だと。逆に機会を調べてみるとchanceとOpportunityがでできます。皆さんもchanceというのは、よく知っているし使うと思えます。よく調べてみると、chanceというのは偶然の機会も含めていろんな意味での機会ですが、Opportunityというのは、はっきりした目的、手段、目標があることに対する機会。ちょっと固い、オフィシャル的なニュアンスがあることが分かり、納得できました。

ロータリーの目的は四つありますが、その原語にも「Opportunity for service」と書いてあります。つまり、ロータリーの目的ははっきりしています。ロータリーは親睦、人々との交わりとかいろいろなことがあり、それも一つの価値ですが、奉仕ということがまず第一のOpportunityです。奉仕に対する機会、ロータリーはありとあらゆる奉仕

に対する機会ではなくてはいけません。ですから、ロータリーで機会という言葉を使うとき、chanceは使ってはいけません。何でもかんでもいいチャンスがあるということではなく、奉仕の目的がある機会ということで、ロータリーでいう機会はOpportunityでしかないんです。そのために、クナーク氏はOpportunityというややこしい言葉を使ったのではないかと私は思っています。

また、彼が言っている内容を読むと、今のロータリーはまずまずうまくいっている。前半では、そんなに悲観することはないと書いています。ロータリー財団の寄付も世界中で年々増えています。それを運用して、ポリオの根絶に努めています。米国疾病センター、WHO、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ユニセフ等の機関が共同で、世界からポリオをなくそうとしています。ロータリーは、1979年冬から三十数年間イニシアティブを取っているメインプレイヤーの一人です。この間、アフリカでポリオが根絶されました。あと2カ所です。

身近なところでも、皆さんが入会して親睦を深めながらロータリーについて勉強して、ロータリー精神でもって地域社会、家庭、職場、奨学生交換、青少年育成等々、いろんなことをしてきました。しかし、2020年のここに至り、もう一度、奉仕ということをメインに据えて新たなOpportunitiesを考えましょう。新たなことを展望しましょうということで、クナーク氏はこの言葉を選ばれたのではないかと私は思っています。

だったら、それはそれでいいんじゃないか、何の文句があるんだという話なんです。後半を読んでみると、論調ががらんと変わります。「だけど、僕はこのロータリーを相当心配している」何に対して心配しているんだと。今、相当いいと言ったばかりなのに心配していると。よくよく読んでみると、ロータリーの将来に対して、10年先、20年先、国際ロータリーは本当に生き残っている組織だろうか。私は、20年先にそんなことがあり得るだろうかと思いましたが、荒唐無稽ではないんです。彼が考えているのは、今の時代の流れは相当速い。今の1年は昔の10年より、もっと速いかもしれない。今でも世界中の情報が瞬時にして分かる、20年先にはもっとすごい時代になる。そのことをクナーク氏は予言しているんです。

1905年、ポール・ハリスがシカゴでロータリーを立ち上げたときはわずか4人でした。私も国際ロータリーの本部に行ったとき、ロータリーの原点である4人の部屋の原形を見せてもらいました。それが、今世界の会員は120万、参加国は200カ国以上という巨大な組織になっています。では、世界のロータリーの模範であるシカゴRCはどうなっているか。115年たつて、存続はしているけど相当減っているということです。

いくら世界のロータリーだといっても、世の中の変化に対

応していかざるを得ないと思います。先はどうなるか、本当のところは誰も分からない。世界の会員数は最高で130万だったものが、ここ20年余り120万でずっと推移している。人数だけでいうと、ロータリーの成長は止まっています。この1、2年のことではなく、20年近くずっとというところにRIは危機感を抱いています。少子高齢化の時代、日本を含め、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツなど先進国がリードしてきたロータリーはどうなっていくのか。私たちが考える以上に、RIは危機感を持っていて、2000年ごろからいろんな制度を変えてきました。eクラブ、衛星クラブ、入会基準の緩和、長期ビジョンを持ちましょう、未来の夢企画、何とかしようとしているいろんなことをしてきました。

ですけど、根本的な改革にはならなかったということで、2016年にすごい改革が次々と打ち出されました。例会は月2回でいい、メイキャップは1年間有効、1業種何人でもいい、業種は問わない、ローターアクト(クラブ)は正式なロータリアンである等々、規定審議会で決定されました。それに対して、日本のロータリアンは驚きました。こんなことで正当なロータリアンと言えるのか、ロータリーと言えるのかという意見が出てきました。当然です。今までのロータリーの教えに対して、全く自由な多様性のある、独自性のものをやっけていい、運営していいということになったわけですから。2019年にも、少しですが追加されました。

そうすると、次の規定審議会ではどんなに変わるかわかりません。さらにその先はどうなるのか。では、その変化を誰が決めるのかということです。今の先進国は、少子高齢化で会員は減っています。アフリカ、西アジア、中南米など発展途上国では人口も増えています。必然的にロータリアンも増えますが、アメリカや日本が指導してきたかちつとしたロータリーの運営はできません。ですから、緩めてくれという話が審議会で当然起こってくるわけです。その結果として、いろ

いろなことが変わってきたというのが現状だと思います。RIが勝手に、ねじまげて変えてぐちゃぐちゃにしているという論がありますが、それは正確ではないと、私は思っています。こういう大きな流れが世界的に起こっているということだと思います。

では、本当にこれから先はどうなるのかということですが、数回にわたって規定審議会に参加された日本の代表の方が、こんなことを書いておられました。「草の根のロータリアン(新興国の底辺でロータリーを支えている方)の1票1票が世界のロータリーに影響を及ぼす。その方の意見が結局は規定審議会に反映されて決まっていくだろう。要するに、ロータリーの制度はRIが上意下達で、上からトップダウンで決めるものではない。ボトムアップで底辺のいろんな方の意見が反映されたものが規定審議会の意見だ」ということです。

多分、これからもそうでしょう。ということは、これから先、もっとドラスチックな変化が出る可能性があります。例えば、例会は自由に決めていいとか、ガバナー訪問は全部のクラブに行かなくていいとか、将来はより驚く変化が世界のロータリーの流れとして、起こる可能性があります。

ですが多様性というのは、いろんなことがあっていいわけですから、逆にいえば、日本的、伝統的、かつ長い歴史のある正統派のクラブも、多様性の中の一つと見なせば何の文句もないわけで、私は日本的なクラブが大好きです。それしか知りませんから。ただ、心の隅には、世界では大きな流れが起こっているんだと、今後、劇的な変化が起こるかもしれないということを置いておかなくてははいけない。本当のことは誰も分かりませんが、世界の流れの変化の中にあるのは、ロータリーも例外ではないという話を今日はさせていただきました。



◆ RIクナーク会長メッセージ



Holger Knaack
President, 2020-21
Rotary International

T +1.847.866.3467
F +1.847.866.3390
holger.knaack@rotary.org

また、2020-21 年度ガバナーには、次の重要メッセージをクラブ公式訪問の際に伝えることをお願いします。

1. 地区は、新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組みます。
そのためには皆さまからのご支援が必要となります。皆さまはまた、衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることに貢献できます。
2. すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、皆さまには次のことを会員に問いかけていただきます。「私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきか、またこのビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか」「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」この会議を進行する人を選んでください。
3. 新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相応な年齢などありません。
4. ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもたちと交わした約束を守らなければなりません。

敬具



ホルガー・クナーク

2020-21 年度国際ロータリー会長

◇ 例 会 変 更 ◇

高知RC	10月27日	創立記念夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	10月27日	ロータリー休日(旭)
高知北RC	11月 2日	ロータリー休日(三)	高知中央RC	11月 5日	休会(城)
高知東RC	11月11日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	11月12日	ロータリー休日(阪)
高知西RC	11月13日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	11月17日	ロータリー休日(旭)
高知中央RC	11月19日	職場例会(城)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

篠原 徹
ガバナー

よろしくお願ひいたします。

中村 裕司 } 篠原ガバナー、大平ガバナー補佐、蔭久委員長、本日のご来訪とご指導、誠にありがとうございました。
関 雅文 } ご指導を糧にして、さらに素晴らしいクラブを目指しますので、ご期待ください。

川崎 敦子 来月、11月7日(土)13時より、母・菊由瀬育子の箏曲演奏会を美術館ホールにて行います。ゲストは世界的に活躍なさっている尺八奏者・藤原道山先生外多数の先生方をお招きし、司会は元NHKアナウンサーの葛西聖司氏にお願いしています。今回は客席数を減らしていますが、ご興味のおありの方はぜひ川崎までお声掛けくださいませ。応援よろしくお願ひします。本日はチラシを配らせていただき感謝のニコニコです。

小林 達司 四国銀行野球部は4大会ぶりに都市対抗野球に出場させていただくことになりました。私も野球部長としてベンチ入りします。皆さま、応援よろしくお願ひします。

林 広行 誕生日を祝っていただきましてありがとうございました。バースデーソングを独り占めし、得した気分です。
松村 豊 妻の誕生日にきれいな花を手配していただきありがとうございました。

右城 猛 家内の誕生日にきれいな花をありがとうございました。久しぶりにニコニコした家内の笑顔が見えました。

隅田 和稔 かみさんの誕生日を忘れていました。「ありがとう」というメールで思い出して冷や汗ものでした。ロータリークラブ様々です。感謝のニコニコです。

中澤 陽一 毎年10月のロータリー例会で、今月が結婚記念日だったことを気づかされます。ただ、当日になると忘れていたのも毎年の恒例です。

千代 達洋 10月結婚記念日をすっかり忘れていました。ご指摘いただいた川崎敦子会員にお礼申し上げます。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月13日	(-7)87	62	13	5	84%
9月29日	(-5)86	64	8	10	90%

● 累計額 [10月13日現在]

ニコニコ箱	273,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	74,168円	ポリオ募金	88,200円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	---------

■ 次週のプログラム [10月27日]

クラブ創立83周年記念夜間例会 18:30～ 三翠園

◆ 11月 3日 祝日の為、休会

◆ 11月10日のプログラム ゲストスピーチ

嶋崎ファーム 代表 嶋崎博子氏
「土佐ジロー養鶏を通して地域貢献」

創 立
例 会 日
例 会 場
事 務 局

E-mail
HPアドレス

昭和12年10月

火曜日 12:30～13:30

三翠園ホテル TEL(822)0131

高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階

TEL(824)8660 FAX(824)2529

shinairc@joy.ocn.ne.jp

http://www.221.ne.jp/kochirc/